

1 豊かな心

具体的な内容		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員(学校評議員)のコメント
思いやりの心もち、互いのよさを認め合いながら、集団生活のルールを守り、協力して楽しい学校生活を送っている	前期	おおむね良好	良好	知っている人や親しい人に対しては、元気なあいさつができてい。一方で、知らない人に声をかけないという風潮(不審者への対応)のせい、地域の人へのあいさつは今ひとつ物足りなさを感じる。また、高学年の子どもたちのあいさつはよくできるが、低学年の子どもが返してくれない場合がある。こども園においても、促されないといけないなど難しさがある。多くの人と接する機会を多く設けて慣れさせ、ステップアップさせてほしい。
	年度	良好		
評価指標		主な取り組み		自己評価B 前期 年度
①思いやりの心と自律性の育成		道徳教育の充実 学校生活アンケート あいさつ運動		3 4
		言葉遣いや礼儀等 集団生活のきまり 交通教室 危機回避能力の向上		3 3
②関わる力や主体性の育成		学級での係活動 所属感を高める学級活動		3 3
		児童会活動 委員会・クラブ活動 異学年交流活動		3 4

【前期→年度】
 ①運営委員会を中心に、あいさつ運動、あいさつルーレットの実施、あいさつ名人の紹介などを行い、次第に明るいあいさつを返せるようになってきた。今後は模範となる児童を称賛する機会を増やすなどしてより活発にあいさつを交わせるようにしていきたい。
 ①「平小サンキューの日」を設定し、呼びかけることで言葉遣いについて改善を図ってきた。また、集会時には生徒指導主事から集団生活のきまりや交通安全についての指導も行った。今後も子どもたちが場に応じた言葉遣いや、きまりをも守った生活ができるよう継続して指導していきたい。
 ②昨年度から全校朝会などの全校児童が集う場で、「感想発表コーナー」を設定してきた。予め決められた代表者ではなく、どの児童も「自分ごと」として集会に参加し、感じたり、考えたりしたことを発表している。今後は、感想だけではなく、質問なども受け付け、より主体的に参加する集会活動にしていきたい。
 ②全校児童がいじめについて考え、より仲良くなることをねらった「なかよし集会」を行った。運営委員会が中心となって集会を計画し、縦割り班ごとに交流し合ったり、テーマについて各学級で話し合ったりした。2学期の2回目の集会で、よりいじめ防止に対する意識高揚や絆の深まりを図っていききたい。

【年度→次年度】
 ①あいさつ運動やあいさつルーレットの活用を通して、元気なあいさつをする児童が増えてきた。次年度に向けて3つのアップを中心に据えて、さらにレベルアップを目指したい。また、校内でのあいさつにとどまらず、地域でのあいさつや来校者へのあいさつも充実するよう、指導を継続したい。
 ①集会の場を通して、返事やお辞儀など礼儀の全体指導を行ってきた。また、折に触れて生徒指導主事が生活指導や学校生活のルールの確認などを行ってきた。次年度も継続して指導していきたい。
 ②「感想発表コーナー」は、声の大きさだけでなく話す内容も充実してきた。今後もどの児童も主体的に、自分事として関わる集会活動を目指していきたい。
 ②掃除などの縦割り班活動やアップル活動、2度の「なかよし集会」により交流が深まるとともに、いじめ防止に対する意識高揚や絆の深まりを図ることができた。今後も交流の時間を大切にしていきたい。
 ②各委員会では、児童の主体的な活動が見られた。今後は、集会を企画する高学年児童にとどまらず、全校児童が集会のねらいを理解した上で参加できるよう充実を図っていききたい。

【各種データ】

保護者アンケート	前期		後期	
	平均	肯定率	平均	肯定率
① 子どもは、楽しく学校に通っている。	3.5	95	3.7	99
② 子どもは、学校・家庭・地域で挨拶している。	3.3	86	3.3	90
③ 子どもは、話す相手や場に応じて正しい言葉遣いをすることができる。	3.0	81	3.1	86
④ 子どもは、基本的な生活習慣(時間、身なり、歯みがき、整理整頓)を身に付けている。	2.9	75	3.1	84
⑤ 教職員は、子どもをよく理解し、一人一人の悩みや相談に真剣に対応している。	3.4	90	3.5	92
⑥ 学校では、いじめや不登校のない学校づくりに努めている。	3.3	89	3.4	93

児童アンケート	前期		後期	
	平均	肯定率	平均	肯定率
① 先生や友達、地域の人に進んで明るくあいさつをしていますか。	3.8	96	3.9	99
② 名前を呼ばれたときに、元気よく返事をしていますか。	3.8	96	3.7	94
③ 学校内の生活のきまりを守っていますか。(時間、服装、歩き方、遊び方など)	3.7	98	3.6	96
④ ふだんの生活で言葉を大切に使っていますか。(くんさん付け、ていねいな言葉)	3.7	97	3.6	94
⑤ 縦割り活動や係活動、委員会活動などを自分から進んでがんばっていますか。	3.8	95	3.9	97
① 学校は楽しいですか。	3.7	90	3.8	99
② いじわるやわがままをしないで、みんなのことを考えて行動していますか。	3.7	98	3.8	99
③ 当番や係でなくても、気がついたときはみんなのためになることをしていますか。	3.7	96	3.6	96
④ 友達のがんばりや良いところを見習い、悪いところは注意してあげていますか。	3.6	94	3.6	95
⑤ 親切に人と接したり、困っている人に手を貸したりしていますか。	3.7	95	3.7	95
⑦ 困り事があると、先生や友だちに相談しますか。	3.4	88	3.3	81

職員個人評価	前期		後期	
	平均	肯定率	平均	肯定率
① 道徳教育の充実 学校生活アンケート あいさつ運動	2.8	78	3.5	100
① 言葉遣いや礼儀等 集団生活のきまり 交通教室 危機回避能力の育成	2.9	89	3.1	100
② 学級での係活動 所属感を高める学級活動	2.9	89	3.4	100
② 児童会活動 委員会・クラブ活動 異学年交流活動	3.3	89	3.6	100

自己評価A及び外部評価の評価区分
○きわめて良好
○良好
○おおむね良好
○やや不十分
○努力を要する

自己評価Bの評価基準
5 実現状況は極めてよく意識も高い/達成率91%以上、前年度比108%以上
4 実現状況は良好で意欲もある/達成率80~90%、前年度比103~107%
3 実現状況は概ね良好/達成率60~79%、前年度比98~102%
2 実現状況はやや不十分で取り組みが不安定/達成率50~59%、前年度比93~97%
1 実現状況は不十分で努力を要する/達成率49%以下、前年度比92%以下